

阪南経済で 法学を学ぶ！

本格的な法学教育と経済学の融合
で現代社会を勝ち抜く！

＜ビジネス法パッケージ紹介＞

なぜ経済学部で法律学か？（原理編）

<回答>

現代ビジネスでは、法令（特に民法、商法。その他関連科目として経済法、行政法等）遵守＝コンプライアンスが求められるから。

これらを知らずに抵触すると、損害賠償義務や刑事責任を負ったり、それらが原因で倒産を招くことも!?

→だから**経済学部でも法律学が必要！**

なぜ経済学部で法律学か？

(キャリア形成編)

<回答>

- (1) **各種公務員試験等**で**有利**になるから。
⇒ 裁判所事務官試験、各種公務員試験で、
法律学に関する出題がある。
- (2) **就職後の昇進試験**にも出題されるから。
⇒ どの学部出身でも関係ない。

法学の学修 (阪南経済の特色)

経済学部の中で、**体系的に**法学を学べる。
⇒単なる「法律の授業がある」経済学部とは全く違う！

経済社会の動きを意識した法学教育。
⇒**就職活動時**までには、時事的な問題も法学的に分析できるようになることを、強く意識したカリキュラム。

阪南経済における本格的な法学教育とは？

<回答>

他大学の優秀な法学部生と伍していくことのできる科目編成。

⇒法学部の科目編成と全く同じではない。

- ・経済学部にて在籍するメリットを活かしつつ、
- ・法学的専門知識もしっかりカ

バーするカリキュラムを提供すること

教育 = 阪南経済における本格的な法学

虻蜂取らずにならない！

4年間(実際には就職活動開始までの3年間)という限られた時間で成果が求められる。

⇒出身大学、専門、年代、経歴の異なる法律系教員による討議や教育研究活動によって、情報を共有し、阪南経済に適合した法学教育を常に研究！

法律系教員による教育研究

- ・他大学における法学部以外での法学教育に関するヒアリングの実施。

- ・成果測定の客観化への取り組み

法学検定試験受検の推奨（団体受検校）

⇒阪南大生であれば、学内で一般受検よりも安く受検できる。合格者には学内表彰制度もある。

- ・ゼミにこだわらず法学系教員全員が指導教員としての役割を果たす。

なぜ、このパッケージ紹介は文字 だけなのか？

<回 答>

法学の成果は、**文字の形になったもので判断される**ことがほとんどだから。

⇒素晴らしい考えがあっても文書にならないものとしてしまうことが通常。

それ以外にももっと実践的な理由もあります。

⇒ [法学担当教員コーナー](#)へどうぞ！